

云ふ處の既設發電所を見に行きました。之れも水量一〇立米一秒、落差三五米位のものでした。發電所の發電機は米國製の様です。發電機の廻る工場を見ると久し振りに文明の風にあたつた様な氣がします。水路取入口をも見ました。之れで學校で習つた發電所の構造も思ひ出しました。土木局に居た頃杉村さんの見てゐる書類は發電所のもので時には私も之が發電所かと見てはゐましたが、夫れは自分の仕事でない様な氣がして、念を入れて見たこともなか

つたのです。學校で習つたものを十數年振りに思ひ出して、之れでシーメンス會社の技師にお前は何の技師かと聞きましたら、俺は發電所の技師だよ、土木技師だよと云ひました。彼の家には澤山の發電所の寫真だの、電氣機具だのありました。シーメンス會社から派遣せられた發電所専門の技師と見えます。

## 新京濱國道起工式に就いて

### 東京土木出張所

場騒で盛大に舉行せられた。

第六十九議會に於て協賛を經、昭和十一年度以降工期六ヶ年工費金壹千參百萬圓を以て起工する事となつた國道三十六號線の内、東京市荏原區戸越町を起點とし横濱市神奈川區西神奈川町二丁目を終點とする新京濱國道の起工式は、拾月拾四日午前九時半から川崎市小向地先川崎ゴルフ

午前九時前後より來賓は陸續として參集した。

此日は降りつゝきたる秋雨も名残なく霧れ、旭に映ゆる富士の白峯もあざやかに、所謂秋天高く氣もすがすがしく、天此の舉式を祝福するかと思はれた。

開始時間午前九時半、振鈴の合図に参列者一同は所定の位置に

着席し

齋主日

枝神社

宮西宮

司の主

宰によ

る行事

は、修

祓・降

神・献

饌・齋

主祝詞

奏上、

木津横

濱土木出張所長の齋鑑奉仕、潮内務大臣の齋鑑奉仕に續き、

齋主玉串奉奠と式は順次に進められ、祭主辰馬東京・木

津横濱

兩土木

出張所

長、潮

内務大

臣（岡

田内務

省土木

局長、

青山内

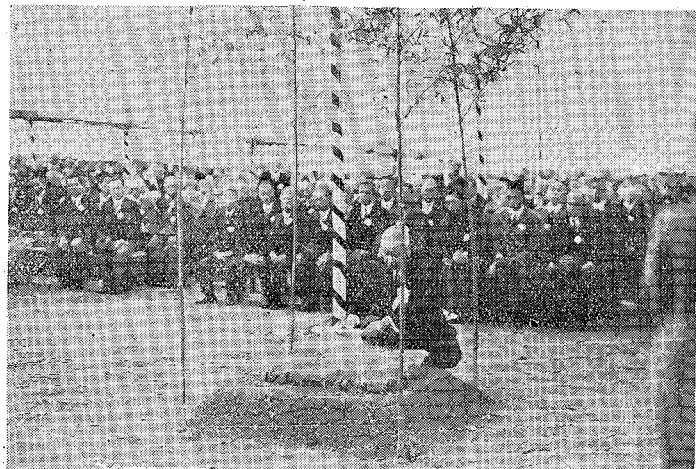
務技監

列拜）

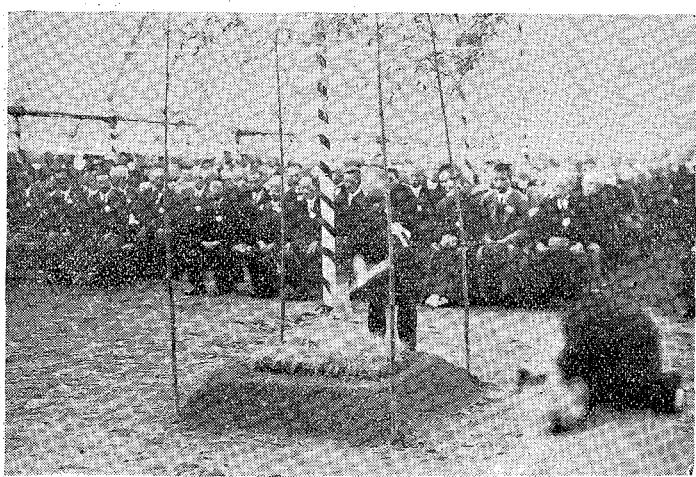
廣田内

閣總理

大臣、



木津横濱出張所長齋鑑奉仕



木津横濱出張所長齋鑑奉仕

田衆議院議長（代理）岩澤主任技師、横山東京・半井神奈

ニ今回今カ起工ヲ見ルニ至レリ

川兩府縣知事、關係府縣會議長、東京・横濱・川崎各市長  
同各市會議長、及來賓總代水野道路改良會長の玉串奉食を  
終つた。

次で撤饌、昇神の後、辰馬東京土木出張所長

式辭

本日茲ニ新京濱國道工事ノ起工式ヲ舉クルニ當り大臣閣

昭和十一年十月十四日

内務省東京土木出張所長

所ナリ

京濱國道ハ東京横濱兩大都市ヲ連絡スル重要路線ニシテ

下並ニ各位ノ御臨場ヲ辱フシタルハ本官ノ最モ光榮トスル

國運ノ進展ニ伴ヒ近時著シク交通量ヲ増加シタルニヨリ曩

ニ東京神奈川兩府縣及ヒ復興局ニ於テ改良工事ヲ施行シ以

テ漸ク近代道路ニ改良セラレタリ

然ルニ交通量ハ其後益々激増シテ既ニ飽和状態ニ達シ爲

ニ戰慄スヘキ事、事故頻出スルノ窮状ニ在リ沿道民之力救

治ノ策ヲ專望スル事多年ナリ政府夙ニ之カ改良計畫ノ必要

ヲ認メ昭和九年内務省ハ別ニ新京濱國道ノ路線ヲ認定シ茲

新京濱國道工事準備成リ本日茲ニ起工ノ式典ヲ舉ク  
新規ノニ輓近各種產業竝貿易ノ躍進ニ伴ヒ帝都、横濱兩都  
市ヲ繋ク現京濱國道ハ其ノ改良未タ幾何ナラナルニ交通著  
シク輻輳シ今ヤ充分ニ其ノ需要ヲ充タス能ハサルノ實情ニ

惟フニ産業ノ發展ハ主トシテ道路ノ整備ニ俟タサル可力  
ラス之ヲ以テ本工事竣工ノ暁ハ啻ニ京濱國道ノ交通禍ヲ根  
絶セシムルノミナラス重要産業ノ發達及ヒ貿易ノ伸張期シ  
テ待ツヘク洵ニ邦家ノ爲慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

在リ是即チ國運發展ノ象徴ニシテ此ノ機運ニ應スル道路ノ改良ハ產業交通上極メテ喫緊ノ事業タルヲ信ス政府ハ乃チ總工費一千三百萬圓ヲ以テ昭和十一年度以降六ヶ年繼續事業トシ新ニ三十六號國道ヲ改修シ此ノ要求ニ應セントス本事業完成ノ曉ニ於テハ沿道地方ノ開發ト相俟テ兩都市間ノ交通ニ一大革新ヲ齎スニ至ルヘキヲ以テ從務各員ノ不斷ノ緊張ト關係官民ノ熱誠ナル協力トニ依リ工程克ク其ノ歩ヲ進メ以テ所期ノ達成ヲ見ルニ至ランコトヲ望ム一言ヲ述ヘテ告辭トス

昭和十一年十月十四日

内務大臣 潮 惠之輔

昭和十一年十月十四日

次で廣田内閣總理大臣は

祝  
辭

新京濱國道新設ノ準備成リ本日ヲ以テ起工ノ式典ヲ舉ク

ルハ邦家ノ爲洵ニ欣幸ニ堪ヘサル所ナリ

道路ハ產業文化發達ノ基礎的要件タルノミナラス一朝有事ニ際リ動員ノ圓滑敏捷ヲ確保スル爲亦缺ク可ラサルノ施

設ニシテ國力ノ伸長ハ之カ改良整備ニ俟ツ所洵ニ大ナリ而シテ帝都、横濱間ヲ連絡スル現國道ハ本邦道路交通上最モ重要ナル地位ヲ占ムルニ拘ラス輓近自動車交通ノ著シキ發達ト沿道地帶ノ異常ナル發展トニ依リ交通益々輻輳シ方ニ飽和ノ狀態ニ在リ依ツテ速カニ之カ緩和ノ途ヲ講シ大イニ道路交通ノ機能ヲ發揚セントスルハ實ニ刻下ノ急務ニシテ新京濱國道新設ノ意義極メテ大ナリト謂フヘシ

現下時局重大ナルノ秋冀クハ官民協力其ノ最善ヲ竭クシテ之カ工ヲ進メ所期ノ成果ヲ舉クルニ萬遺憾ナカラシムルコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トス

内閣總理大臣 廣田弘毅

を、馬場大藏大臣は

祝  
辭

茲ニ三十六號國道新設工事ノ準備成リ本日ヲトンシテ起工ノ式典ヲ舉ケラル邦家ノ爲寔ニ欣賀ニ堪ヘサルナリ  
帝都及横濱ノ兩市ハ輓近其ノ關係益々密接ノ度ヲ加フル

ニ拘ラス之ヲ連絡スル道路へ纏ニ一號國道アルニ過キス近時急激ニ發達セル交通情勢ニ照シ定ニ寒心ニ堪ヘサルモノアリ然ルニ内務當局夙ニ思ラ茲ニ致シ去ル昭和九年三十六號國道ノ新路認定ト共ニ之カ開設ノ計畫ヲ樹立スルヤ東京神奈川兩府縣當局ノ協力ヲ得今ヤ精緻ナル規畫ノ下ニ其ノ工事着手セラルニ至ル念フニ之カ完成ノ曉ニ於テハ交通上一段ノ利便ヲ加フルハ勿論横濱港ノ整備ト相俟ツテ我國產業ノ開發ニ資補スル所蓋シ大ナルモノアルヘシ冀クハ官民一致最善ノ努力ヲ竭シ以テ之カ竣工ヲ期セラレムコトヲ一言燕辭ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和十一年十月十四日

大藏大臣 馬 場 錄 一

昭和十一年十月十四日

を、近衛貴族院議長は

祝 辞

新京濱國道開鑿ノ計畫已ニ成リ本日ヲ以テ其ノ起工式ヲ

舉行セラル洵ニ慶賀ノ至ニ堪ヘサルナリ

惟フニ京濱國道ハ我カ帝國ノ中心ヲナス東京市ト其ノ門

ヲ爲スモノナリ

貴族院議長公爵 近衛文磨

を、富田衆議院議長は

祝 辞

東京横濱間ヲ貫通スル京濱國道ハ我國交通上最重要幹線

戸ヲナス横濱市トヲ連絡スル交通路ニシテ其ノ施設ノ宣シキヲ得ルト得サルトハ啻ニ兩市ノ盛衰ニ關スルノミナラス亦我カ國運ノ消長ニ繫ル所多大ナルモノアリ

然ルニ近時京濱國道ノ交通頓ニ繁シク人馬ノ往來車馬ノ輻輳舊ニ倍蓰シ今ヤ交通ノ安全運輸ノ敏捷共ニ之ヲ保シ難キ狀勢ニアリ當局者茲ニ鑑ミル所アリ乃チ新京濱國道ヲ新設セムトス寔ニ時宜ヲ得タルモノト謂フヘシ本國道ノ工事完成シ其ノ開通ノ曉ハ京濱兩市ノ交通倍々殷賑ヲ極メ其ノ福利ヲ增進シ以テ國運ノ發展ニ資セムコトヲ期シテ待ツヘキナリ冀クハ速ニ竣成シ亟ニ開通セムコトヲ聊カ述ヘテ祝辭トス

近來我國產業ノ發展ト貿易ノ殷賑ハ京濱間ニ於ケル交通

カ改善ノ急務タルヲ痛感セル所ナリ

量ヲ頓

ニ激増

セルモ

國道ノ

施設之

ニ伴ハ

ズ運輸

ニ交通

ニ日夜

幾多ノ

支障ヲ

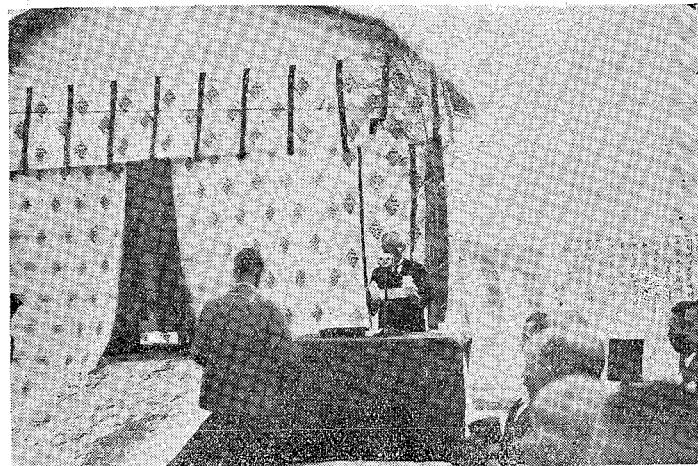
來シテ

混亂狀

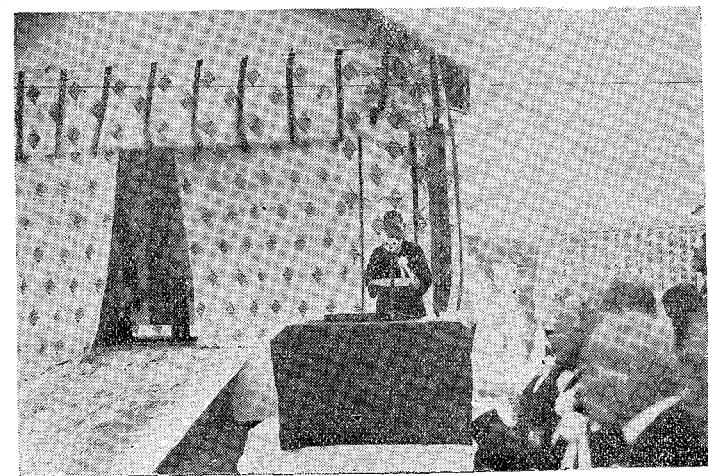
態ヲ呈

シ亦數

々人命ノ損傷ヲ生スルハ夙ニ吾人ノ遺憾トセル所ニシテ之



潮内務大臣告辭



辰馬東京土木出張所長式辭

是ヲ

以テ政

府ハ今

般別ニ

路線ヲ

擇ヒ本

年度ヨ

リ六ヶ

年間繼

續事業

トシテ

新京濱

國道ノ

開設ヲ

計畫シ

特別議會ニ於テ敢テ贊同ヲ吝マサリシ所以實ニ此ニ存ス  
蓋シ新國道一度ヒ開通スルニ至ラハ輦轂ノ下京濱國道ノ  
面目ヘ一新シ運輸交通ノ途ヲ完ウシテ我國產業ノ進展ト國  
民生活ノ安定トニ貢獻スルコト寔ニ大ナルハ疑フヘカラサ  
ルトコロナリ

本日之カ起工式ヲ舉行セラルルニ際シ茲ニ謹シテ祝意ヲ  
表ス

昭和十一年十月十四日

衆議院議長 富田幸次郎

を朗讀（代理）せられ、續いて東京府知事、神奈川縣知事  
東京、横濱、川崎各市長の祝辭があつて最後に水野道路改  
良會長は次の如き主旨の所感を述べられた。

私の祝辭も前各位の祝辭と大同小異で重ねて同様のも  
のの朗讀は省略し此際感想の一端を述べることとする、  
抑我道路改良會は十八年前に創立せられたが、當時我國  
の道路は極めて不完全で橋梁の如きも大河川には殆んど  
其の架設を見なかつた、帝都でも鋪裝された所は本郷の

帝國大學前の本郷三丁目より第一高等學校手前までの短  
距離間に木塊鋪裝が施されたのみであつた。躍進の日本  
としては甚だ遺憾であるので道路改良、橋梁架設を促進  
し以て交通上の完備を達成せんことを急務なりとし濱澤  
子爵其他の有志に依つて道路改良會が創立せられた、爾  
來所期の爲に努力する所か尠くなかつたのである。然  
るに今日未だ二十年にも達しない歲月間に帝都初め都會  
地は勿論は地方に至るまで道路の修築、鋪裝、橋梁の架  
設を視らるるの狀態となつて我國の躍進振を如實に示す  
に至つた、固より現状を以て完璧を得たりと云ふことを  
得ないが曾て屢々日本に來遊したことのある米國の一知  
人が過日東京に來られ面晤したる際に此度の渡日に意外  
にも日本が急激なる躍進をなしたるを看取した、特に道  
路橋梁の如き殆んど昔日の面影を見ることを得ないので  
ある。東京市昭和通の立派な鋪裝道は米國は勿論歐洲各  
都市でも稀に見らるる所であると賞讃された、あながち  
世辭とは思はれない、實に我國に於ての道路に現はれた

躍進は驚くの外はない凡そ國家が躍進せんとする秋には先づ交通特に道路開発の上に其の状勢が現はるるものである、今日我日本の躍進する状勢に適應せしめんが爲に京濱間に第二国道を建設せんとするの計畫を樹てたるは寔に恰當の方策である。今日此起工式に臨み衷心欣快に甚へない次第である、關係當局は一致協力速かに其の功を收められんを切望して已まぬ所である、聊か所感を述べて祝辭に代ゆるのである。

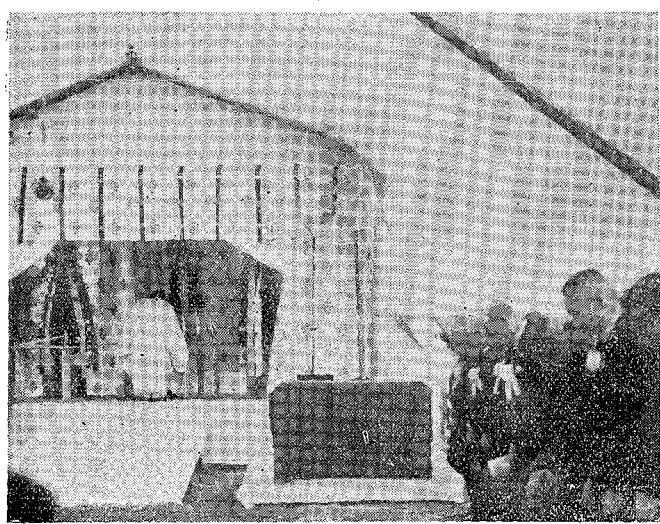
式典は午前十一時半嚴肅裡に終了を告げた。

参列者一同は、新京濱國道期成會主催に係る祝賀會祝賀會場に臨み、祝宴は牛塚期成會長の挨拶に始まり、肝付内務參與官來賓を代表して答辭を述べられ、正午過ぎ青木期成會副會長の發聲にて萬歳を三唱して散會した。

此時一臺の飛行機は後尾に「祝新京濱國道起工式」の吹流を付けて澄み渡つた秋空を數回旋廻し、或は祝賀ビラとは謹謨風船等を撒布して此好き日を祝せられた。

尙早朝より時々大空に打上げられた花火も大いに興を添

へ、郷土舞の獅子舞其他の餘興は何時果つるとも知らず約一千名に達する参列者は何れも歡喜に甚へざるもの如く見受けられた。



神

降